

# 鳥羽市観光基本計画(案)の

## 答申を受けました

農水商工観光課観光戦略室 ☎ 1157

### これまでの経緯

市の観光施策の根幹となる中長期的な計画を策定するため、昨年5月から市内外の観光関係団体のかたがたや学識



委員会会長から、市長へ答申を行いました

経験者などからなる鳥羽市観光基本計画策定委員会を組織するとともに、その下に3つの専門部会を設置し、計画の策定に向けた議論を重ねてきました。

全体会議である策定委員会を3回、3つの専門部会を10回、合計13回の会議を開催し、委員のみなさんには非常に熱心に議論していただきました。また、昨年11月には、同委員会で取りまとめた計画(案)についての意見を広く市民のみなさんから募集しました。その結果、総数3件のご意

見が寄せられ、それらを踏まえた上で計画(案)の最終の取りまとめが行われました。

寄せられたご意見に対する市の考え方は、市のホームページ(アドレスは最終ページに掲載)をご覧ください。

### 計画(案)の答申

そして昨年12月13日に、同委員会会長の村上和夫さんから市長へ計画(案)を答申していただきました。この答申を踏まえ、市では「鳥羽市観光基本計画」を今年度中に策定することとしています。

### 部会長からのコメント



鳥羽のイメージ戦略部会 奥野 和宏さん

“まち”の誇りである光(宝物)を再発見し、観しみすることが“観光まちづくり”の視点です。訪れる人びとの動機付けになる鳥羽ブランドの「暖簾(のれん)」を“輝く人びと”とし、交流の拡大を目指したいと思います。



観光地の機能向上戦略部会 滋野 峻さん

観光をリードする現役のスペシャリスト(委員のかたがた)の手作りで、“地に足が着いた”「基本計画」が完成しました。本計画が、少しでも鳥羽市の将来にお役に立てればと思います。



やさしい感幸の鳥羽づくり戦略部会 江崎 貴久さん

観光は人びとの生活と切り離せないものであり、観光業に直接携わらない住民のみなさんがいてこそ鳥羽の観光は成り立っています。みんなが幸せを感じられる鳥羽にしていきたいです。

### 観光地の先駆けとして



鳥羽市観光基本計画策定委員会会長(立教大学観光学部教授) 村上 和夫さん

先進観光地・鳥羽にふさわしい計画が出来上がりました。

この計画は、宿泊施設・観光施設・温泉などの観光業界の委員、バリアフリーやエコツーリズムなどの新しい観光の委員、それに交通機関やメディアなどの需要を送る側の委員で作りました。委員は3つの部会に分かれ課題を議論し、解決に向けた提案を自ら手でまとめました。



鳥羽高等学校で、観光に関する授業を実施しました

観光地の目標を観光者数に求める傾向がありますが、本来は関係する人びとがよく議論し、質の高い観光地をつくり上げていくことが大切なのです。この点で本計画は、県内の観光地の先駆けとなるものです。

市民のみなさんのご協力です。本計画が実現されていくことを祈念いたします。